

経済学研究科附属経済研究所 サブ・クラスター研究継続申請書

平成 28 年 3 月 22 日

経済学研究科附属経済研究所長 様

〔申請者；研究代表者〕

所属（専攻）経営学専攻

補職名 教授

氏 名 白杵政治

平成 28 年度につき、下記のサブ・クラスター研究を継続したく継続申請を提出します。

1. 研究課題名	老後の所得保障における私的年金（確定拠出年金）の課題
2. 研究期間（5カ年度以内）	平成 27 年 4 月～ 平成 31 年 3 月
3. 共同研究組織 研究代表者（所員） 共同研究者（所員）、 研修生	（氏名・所属クラスター・補職名） 白杵政治・経営学系クラスター・経済学研究科教授 三澤哲也・経営学系クラスター・経済学研究科教授 大久保信一・経済学研究科博士後期課程。
4. 平成 28 年度の研究計画	<p>1. 白杵政治「賃金に連動する公的年金に上乗せされる確定拠出年金の最適資産配分について」（年金と経済、2015 年 11 月号）をもとに公的年金の上乗せとして、確定拠出年金がある場合にデフォルトファンドの資産配分（固定型・ライフサイクル型）、リスク配分による、個人（加入者）への選択の影響、についての研究を深める</p> <p>2. 日税連による寄附を利用して実施したインターネットアンケートの結果を用いて、①正規雇用とそれ以外の働き方などがもたらす、企業型確定拠出年金への従業員の関心の違い、②中途採用応募者に与える影響、を明らかにする。</p> <p>その上で法改正により加入対象者の拡大など、今後公的年金給付を補完する役割が期待される、確定拠出年金の普及・運営実施に即して研究を行い、政策的な示唆を得るべく努める。</p> <p style="text-align: right;">（以上）</p>